



2024年12月4日

**独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する
「サステナビリティボンド」への投資について**

学校法人東北医科薬科大学（理事長：高柳 元明、以下、「本学」）は、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下、「JRTT」）が発行するサステナビリティボンドへの投資を決定いたしました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

JRTTは、東北地域において、東北新幹線など国土発展に係るプロジェクトを実施しているほか、仙台市営地下鉄東西線など複数のローカル線の建設も実施しており、地域住民の交通ネットワークの充実にも貢献しています。

本学は、医学部、薬学部そして両学部の臨床実習の場である附属病院が連携した教育を通じて、地域社会を支える医療人、研究者など多様な人材を育成しておりますが、これに加え、本債券のような社会的課題や環境問題の解決につながる事業、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく、社会的使命・役割を果たして参ります。

【本債券の概要】

銘 柄	第171回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券（サステナビリティボンド）					
年 限	2年					
発行総額	158億円					
関連するSDGs	 3 すべての人に健康と福祉を	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
	 13 気候変動に具体的な対策を	 15 陸の豊かさも守ろう				
そ の 他	JRTTは、鉄道建設業務、船舶共有建造業務のサステナビリティ性に関し、国際的な第三者評価機関であるDNVから、各種の国際基準への適合性の検証・評価を受けている。 また、鉄道建設業務に関し、グリーン性について厳格な国際基準を設けるCBI（低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）から、一度の認証で継続的な調達が可能となるプログラム認証をアジアで初めて取得している。					